貸借対照表

令和 8年 6月30日　現在

リフォームのTAKEUCHI株式会社　　（単位：　円）

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	559,689,077	【流動負債】	697,616,085
現金預金	428,161,375	未払金	383,734,587
売掛金	22,207,147	未払法人税等	609,200
契約資産	27,116,072	未払消費税等	28,205,700
商品	1,754,402	契約負債	253,482,621
材料	328,870	預り金	723,477
未成工事支出金	52,042,057	賞与引当金	30,860,500
貯蔵品	2,050,477	【固定負債】	783,000
前払金	25,281,856	役員退職慰労引当金	783,000
未収入金	746,821	負債の部合計	698,399,085
【固定資産】	244,522,975	純資産の部	
【有形固定資産】	27,334,003	【株主資本】	105,812,967
建物	17,224,813	資本金	50,000,000
建物附属設備	6,350,256	資本剰余金	87,857,889
工具器具備品	3,758,934	資本準備金	87,857,889
【無形固定資産】	232,675	利益剰余金	-32,044,922
ソフトウェア	232,675	その他利益剰余金	-32,044,922
【投資その他の資産】	216,956,297	繰越利益剰余金	-32,044,922
長期前払費用	923,387		
保証金敷金	16,032,910		
長期性預金	200,000,000	純資産の部合計	105,812,967
資産の部合計	804,212,052	負債及び純資産合計	804,212,052

注　　記　　表

リフォームのTAKEUCHI株式会社

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 有価証券の評価基準及び評価方法
　関係会社株式及びその他有価証券は移動平均法による原価法によっております。

2. 棚卸資産の評価基準及び評価方法
（1）商品・・・・・・・・・先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）によっております。
（2）材料・・・・・・・・・先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）によっております。
（3）未成工事支出金・・・個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）によっております。
（4）貯蔵品・・・・・・・・先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）によっております。

3. 固定資産の減価償却方法
（1）有形固定資産の減価償却方法は平成10年4月以降取得建物及び平成28年4月以降取得建物付属設備並びに構築物の定額法を除き定率法によっております。
（2）無形固定資産の減価償却方法は定額法によっております。
（3）長期前払費用の償却方法は定額法によっております。

4. 引当金の計上方法
（1）貸倒引当金は債権の回収可能性を検討して回収不能見込額がある場合計上します。
（2）賞与引当金は期末に在籍する従業員の賞与支給見込額に基づき計上しております。
（3）退職給付引当金は従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に対し中小企業退職共済及び養老保険等を考慮して不足額を計上します。当期不足額はありませんでした。
（4）役員退職慰労引当金は役員退職慰労金規程による当期末要支給額を計上しています。

5. 重要な収益費用の計上基準
　収益は約束した財または役務の支配が顧客に移転した時点で交換に受け取ると見込まれる金額を収益認識しております。機器等販売については顧客に引き渡したときに収益を認識しております。建築設備工事等については一定期間にわたり履行義務が充足される場合その進捗度に応じて収益を認識しております。進捗度は予想総原価に対する実際発生原価の割合により測定しております。

6. 消費税等の会計処理
　消費税の処理は税抜き方式によっております。

貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額　　35,012千円

2. 保証債務
　なし

3. 関係会社に対する金銭債権債務
　短期金銭債権　　535千円
　短期金銭債務　　95,280千円